

行政

桂川町長

井上 利一



明けましておめでとうございます。

皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、元日に能登半島地震が発生し甚大な被害をもたらすなど、全国各地において災害が発生しましたが、本町においては比較的穏やかな一年であったように思います。

しかし、国際的には「分断」と「対立」が一層深まる火種を抱え、安穏とできる状況ではありません。

3年目を迎えるロシアのウクライナ侵攻、中東におけるイスラエルの攻勢、シリアのアサド政権崩壊、韓国の大統領弾劾など、世界中を不安に陥れる出来事が続出しています。

国政においては、少数与党の現実に鑑み、数々の政治課題が提起されていますが、国民が安心して暮らせる安定した政治の遂行が求められていると存じます。

一方、明るいニュースとして、日本原水爆被害者団体協議会の核兵器廃絶に取り組む活動が認められ、「ノーベル平和賞」を受賞しました。核兵器の廃絶と世界平和の希求は、世界で唯一の被爆国・日本の悲願であります。

本町の町づくりの課題は山積していますが、中でも、将来の生活基盤に係わる案件が多く、具体的には、県事業で要望している県道豆田稲築線（九郎丸工区）の改良工事や七浦ため池の改修工事、各所の生活道路の整備、保育所と幼稚園を併合した認定こども園建設、ふくおか県央環境広域施設組合のゴミ処理施設計画の促進などが挙げられます。

また、教育・福祉の充実をはじめ、子育て支援事業や地域コミュニティの活性化、文化・スポーツ活動の推進などに努めるとともに、王塚古墳の保存・活用計画や桂川町誌の編纂に継続して取り組んでまいります。

結びに、本年が皆様にとって健康で幸せ多い年でありますことを心から祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。